

青森市清清掃工場の破碎選別処理施設の再稼働に向けた 火災対策整備工事について

1 青森市清掃工場の概要

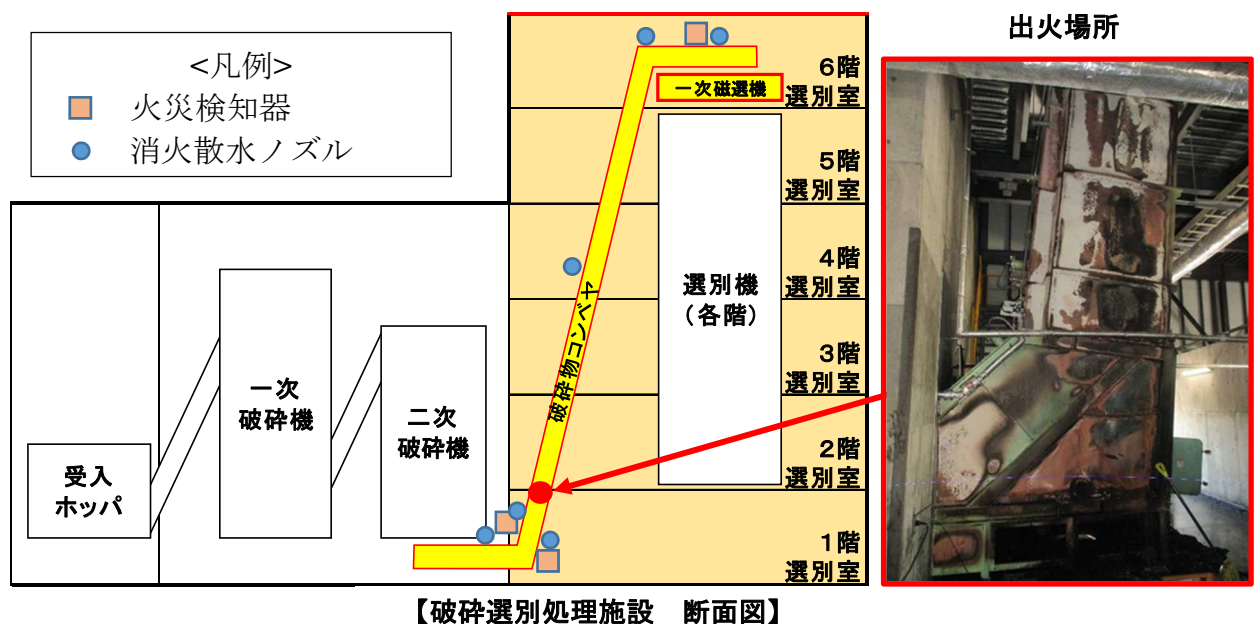
- 可燃ごみ焼却施設、不燃ごみ破碎選別処理施設
※ DBO（公設民営）方式による整備
※ 平成27年4月供用開始
【建設事業者】三菱重工環境・化学エンジニアリング(株)
が代表企業
【運営事業者】青森エコクリエーション(株)
(代表企業100%出資・運営期間20年間)



青森市清掃工場 外観

2 青森市清掃工場の火災の概要

- 発生日時 令和2年5月25日午前11時36分出火（16時30分鎮火）
出火場所 破碎選別処理施設の破碎物コンベヤ
焼 損 破碎物コンベヤ、一次磁選機、建物6階天井部分など
原 因 消防本部の調査結果では、携帯電話の電源であるリチウムイオン電池が不燃ごみに混在し、破碎による衝撃で破損、ショートし、周囲の可燃物に着火、延焼したものと推定された



3 運営事業者との協議

○令和2年度

出火原因の究明、火災の責任と費用負担に関する協議

○令和3年度

代理人弁護士を立て、継続して火災の責任などについて協議

環境省 令和4年3月31日付け「リチウム蓄電池等処理困難物対策集」公表
《内容》リチウムイオン電池等の特性や危険性の説明や、ごみの収集運搬、処理施設の処理段階での対策を例示

※リチウムイオン電池の特性

破砕による衝撃を受けてから、徐々に温度が上昇し発煙・発火に至る特性

○令和4年度

代理人弁護士とともに、火災発生当時は想定し得なかったリチウムイオン電池等の特性を踏まえた運営事業者提案の改善対策を検証

○令和5年度

環境省公表の「対策集」を参考に、安全な再稼働に向けた対策を整理
代理人弁護士とともに、火災の責任及び費用負担について協議

4 清掃工場火災対策整備工事等の概要

- 破砕物コンベヤ全域に火災検知器及び消火散水ノズルを増設
- コンベヤベルトを難燃性ゴムから金属製に変更
- コンベヤに緊急排出シュートを新設
- 破砕機投入前の監視体制の強化（手選別の人員増） など

5 事業費等

青森市清掃工場火災対策整備事業 1, 130, 305千円

- 令和6年度一般会計当初予算（案）に提出予定